

平成 28 年 11 月 10 日

研究公開用文書

研究名：緑内障患者に対するリパスジル点眼薬の長期投与効果についての研究

研究の概要：緑内障は失明原因の第 2 位となる慢性疾患である。眼圧を下げるのが唯一の治療法であり、多くの眼圧下降薬が開発され、臨床応用されている。今回、グラナテック点眼（一般名：リパスジル点眼）が世界で初めて日本で承認された。リパスジル点眼は既存の眼圧下降剤とは異なる作用機序を有しており、多剤併用に追加投与した場合も眼圧下降効果を期待される。しかし、多剤併用に対する追加効果についての報告がなく、その検討が必要とされている。今回、既にリパスジル点眼が追加投与となり、1 年間経過観察できた患者さんを対象とし、すでに得られた臨床情報から眼圧下降効果、副作用発現率などを検討する。

研究対象：緑内障と診断され、すでに緑内障点眼を 3，4 種類処方されているにもかかわらず、目標眼圧に達していない、もしくは視野障害が進行している患者さんでグラナテック点眼液（一般名：リパスジル点眼液）を新規に追加処方され、点眼追加後 1 年間経過観察できた方を対象とした。

研究責任者： 附属市民総合医療センター
所属：眼科 氏名：稲崎 紘

研究実施期間： 平成 28 年 11 月許可日～ 平成 29 年 12 月 31 日
症例組み入れ対象期間は平成 26 年 12 月から平成 27 年 9 月までに治療を開始され 1 年間経過観察できた患者さんを対象とする。

患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡下さい。

拒否された場合、患者さんにとって不利益になることは一切ございません。

また、この研究のために患者さんの負担や危険が増えることはございません。

連絡先：

横浜市立大学附属市民総合医療センター

所属：眼科 氏名：稲崎 紘

〒：232-0042 住所：横浜市南区浦舟町 4 - 5 7

電話：045-261-5656 (内線 7456)